



新公会計info

第6号 2017.11.29発行
新公会計検討委員会事務局





本号の内容

-  やさしく解説 統一的な基準について
今回は、総務省が公表している「統一的な基準」について解説します。
-  よくわかるシリーズ～新公会計制度におけるキーワード解説～
今回は、「財務諸表の読み方(貸借対照表)」について解説します。



やさしく解説 統一的な基準

今回は、総務省が平成27年1月に新たな地方公会計の基準として公表した「統一的な基準」について紹介します

新公会計制度の経緯(第5号より)

	先進自治体(東京都等)	その他の自治体	国(省庁)		
昭和55年～	↓	↓	↓	財務諸表を試作	
昭和60年～					
平成2年～					
平成12年～	↓	↓	↓	総務省方式により財務書類を作成	省庁別財務書類を試作
平成17年～				東京都が独自基準で財務諸表を作成	省庁別財務書類を作成
平成22年～				基準モデル、改訂モデルにより財務書類を作成	
平成27年～	大阪府、愛知県、町田市等が、独自基準で財務諸表を作成	↓	↓	↓	↓
平成29年～	統一的な基準により財務書類を作成				



やさしく解説 統一的な基準

統一的な基準とは？

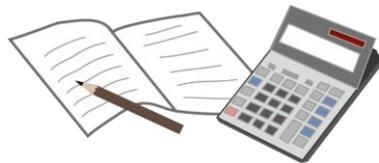
統一的な基準は、平成27年1月に総務省より公表されたすべての地方公共団体を対象とした統一的な財務書類の作成基準です。

品川区では「東京都基準」を用いて財務諸表を作成しますが、東京都基準で作成した財務諸表を変換し、「統一的な基準」を採用した財務書類も作成・公表します。2つの基準は基本的な考え方は類似しているため、決算書も大きな相違はありませんが、作成する基準により、「財務諸表」と「財務書類」と呼び分けています。



統一的な基準の特徴は？

統一的な基準は、品川区が採用する東京都基準と同様に、「発生主義」「固定資産台帳の整備」を特徴とした基準です。



■発生主義・複式簿記の導入



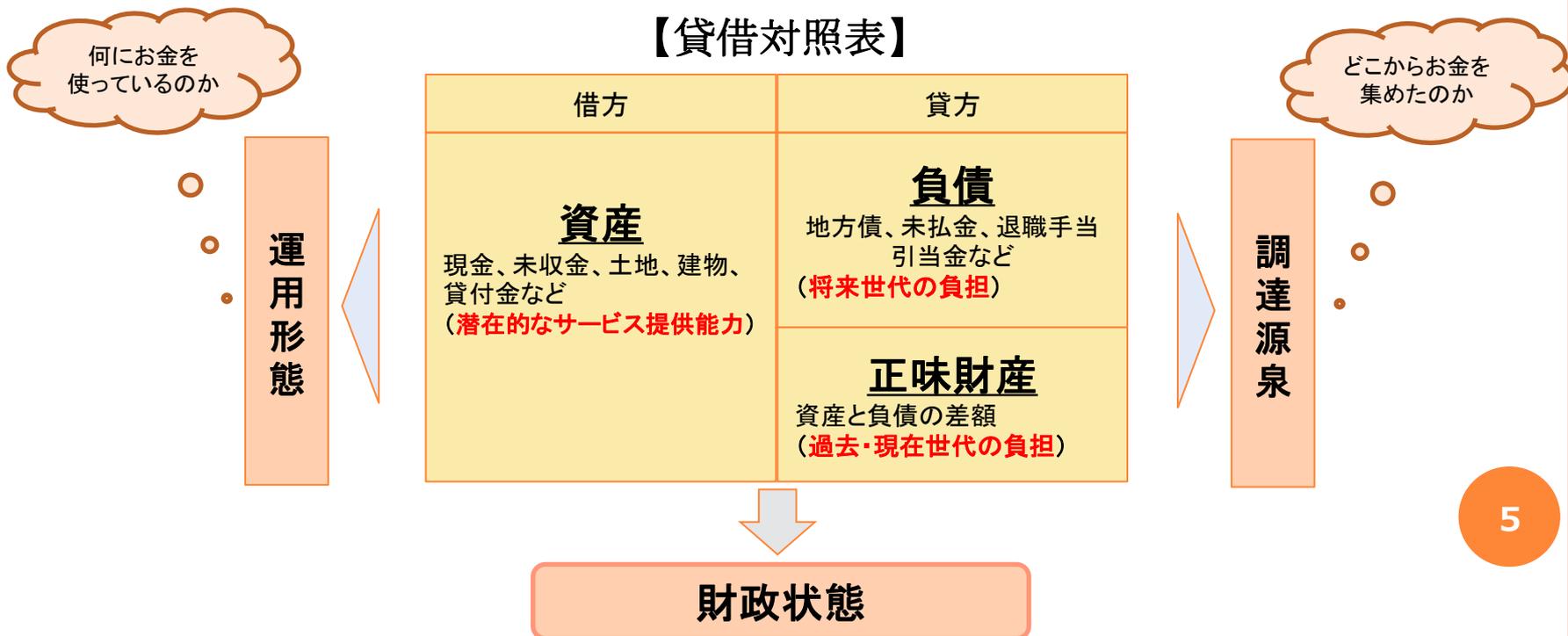
■固定資産台帳の整備

💡よくわかるシリーズ

「財務諸表の読み方(貸借対照表)」のはなし

貸借対照表ってどんなもの？

貸借対照表は、基準日時点における地方公共団体の財政状態(資産・負債・純資産がいくらあるのか)を明らかにすることを目的として作成します。

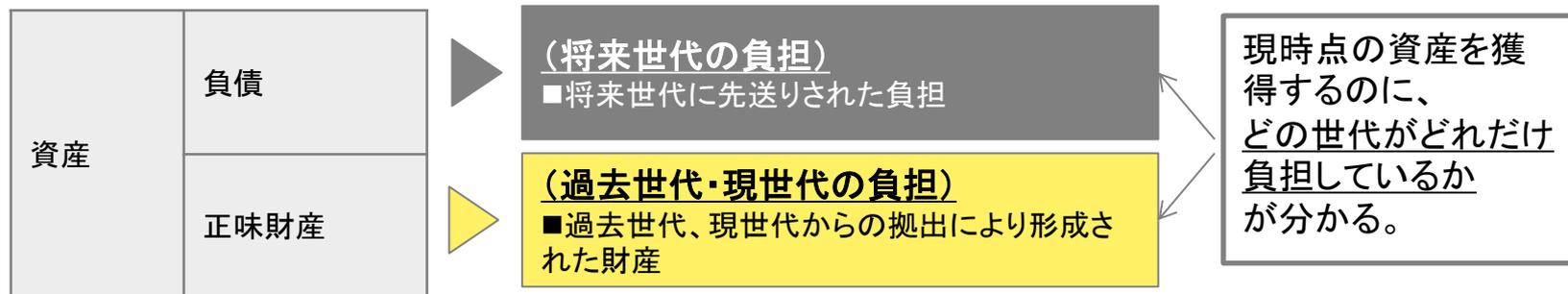


💡よくわかるシリーズ

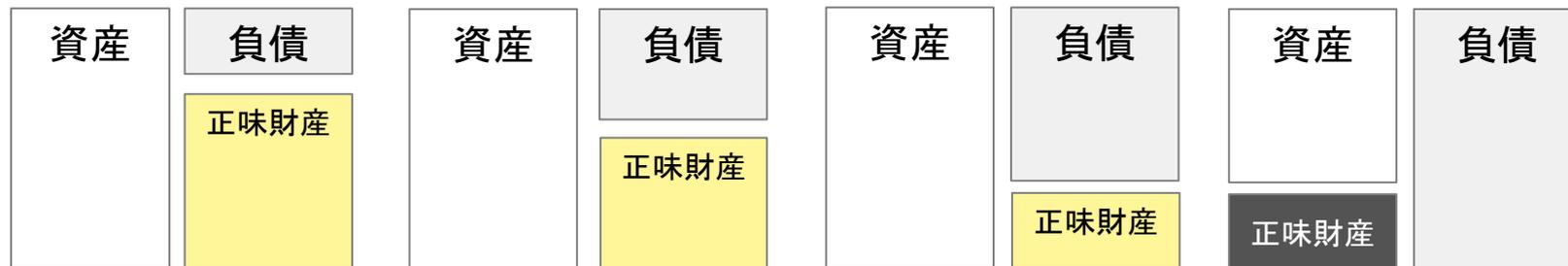
「貸借対照表」をみてみよう

つまり...

「負債」、「正味財産」が表わすものとは



- 貸借対照表上の負債と正味財産の割合(正味財産比率)により、過去世代・現世代が将来世代にどの程度財産を遺したか、あるいは将来世代に負担を先送りしたか、といった世代間負担の公平性を把握することができる。



← 将来世代に資産を残している

→ 将来世代に負担を先送りしている



次号以降も、新公会計の実務に関する情報など
提供してまいります。

